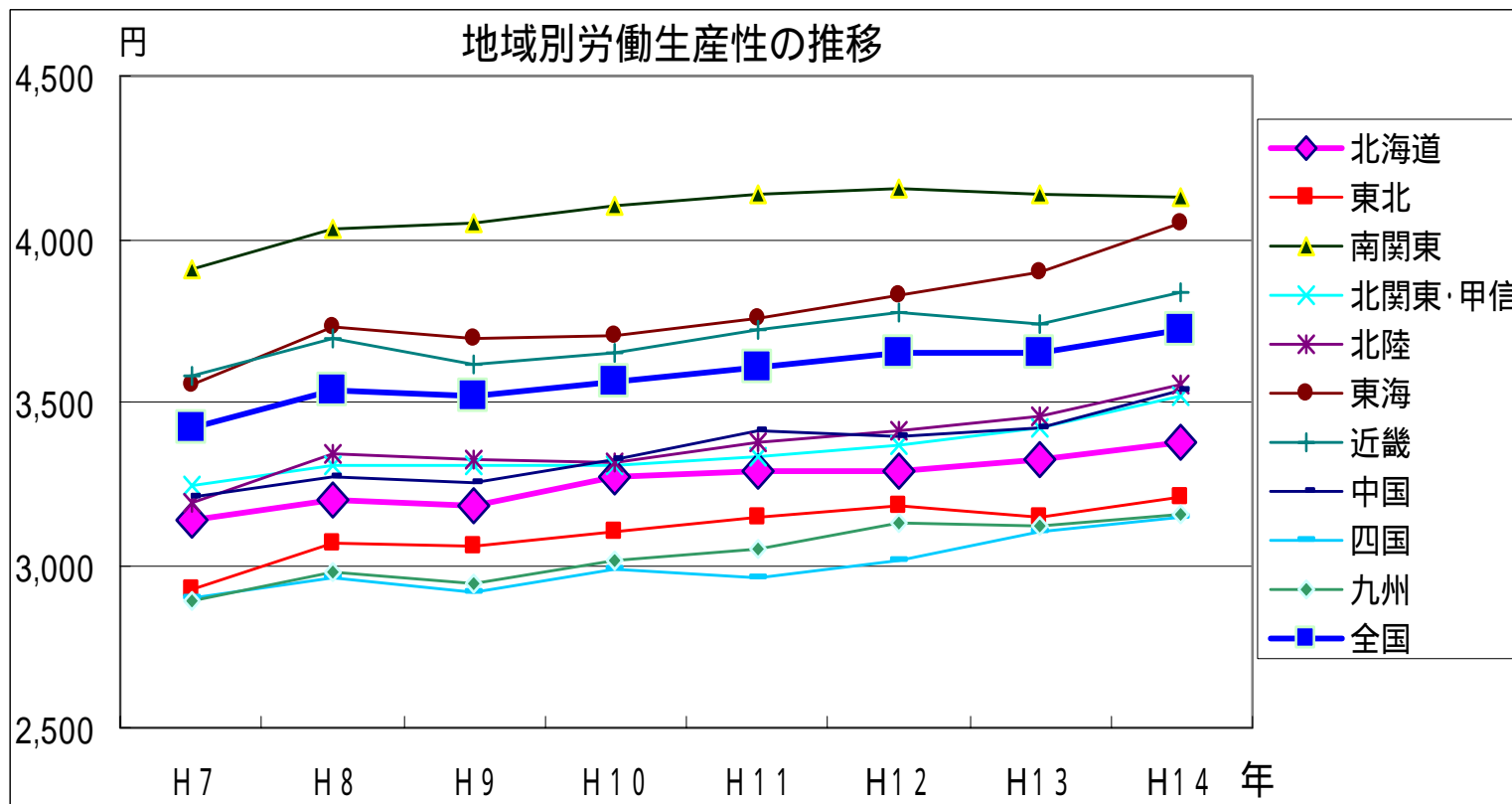


# 地域別生産性の比較

地域別の労働生産性の推移をみると、年々上昇傾向にあり、かつ地方圏との比較では、北海道は東北、九州、四国より高めに推移しているものの、全国平均を300円前後下回っている。



出典：内閣府「県民経済計算年報」（年度）、総務省「労働力調査年報」（暦年）

注：労働生産性の算出方法は以下のとおり

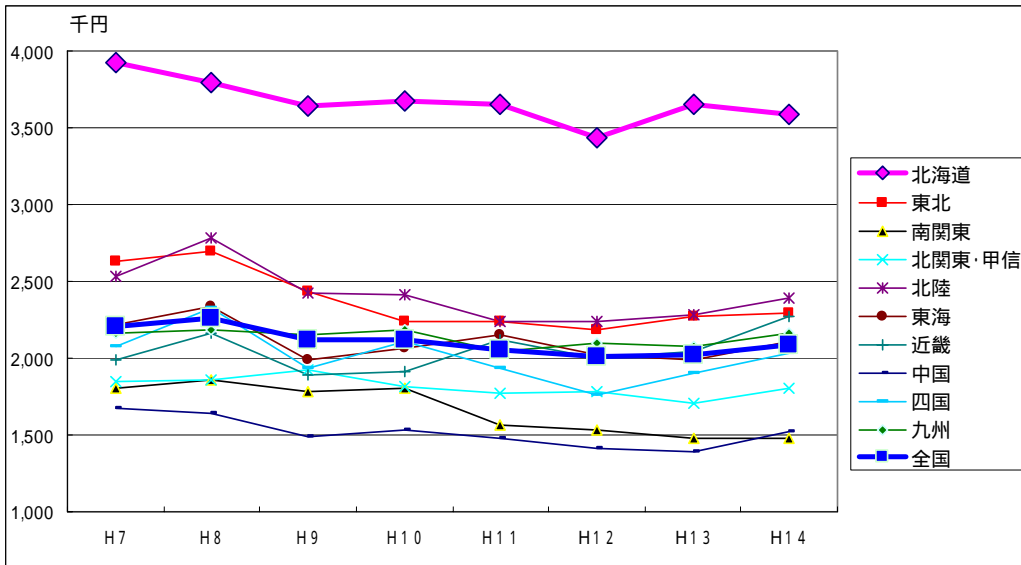
労働生産性 = 県内総生産（実質） / 労働投入量\*

\* 労働投入量は = 年平均就業者数 × 平均週間就業時間 × 52週

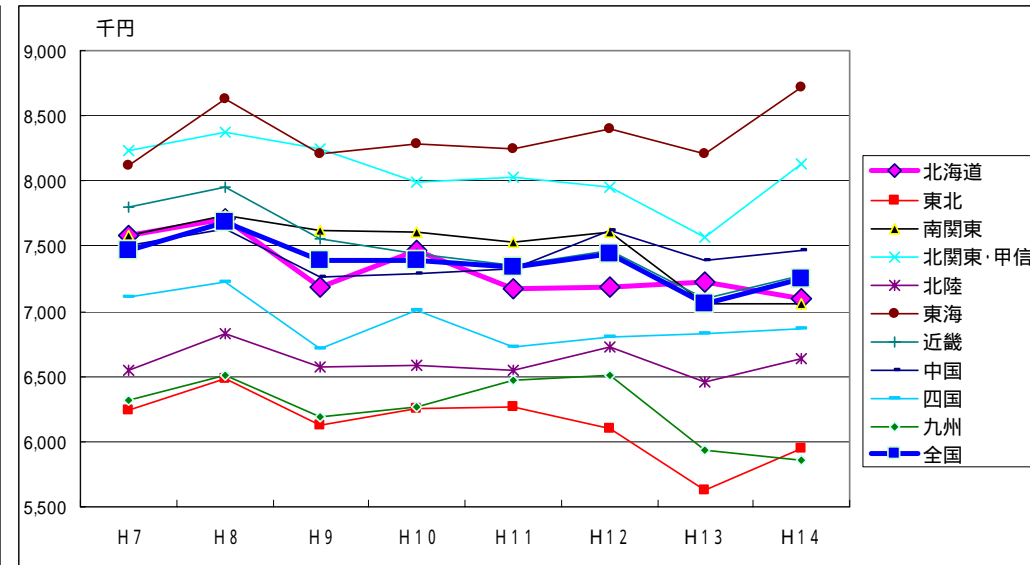
# 産業別・地域別一人当たり名目総生産の比較（参考）

産業別・地域別の一人当たり名目総生産について、全国と北海道を比較すると、一次産業は全国平均を大きく上回っており、二次産業もほぼ全国並みで推移している。第三次産業では、南関東が群を抜いて高く、北海道は四国、九州よりも高い数値を維持しているものの、全国平均とは80万円近くの差が出ている。

地域別一人当たり名目総生産の推移(一次産業)



地域別一人当たり名目総生産の推移(二次産業)

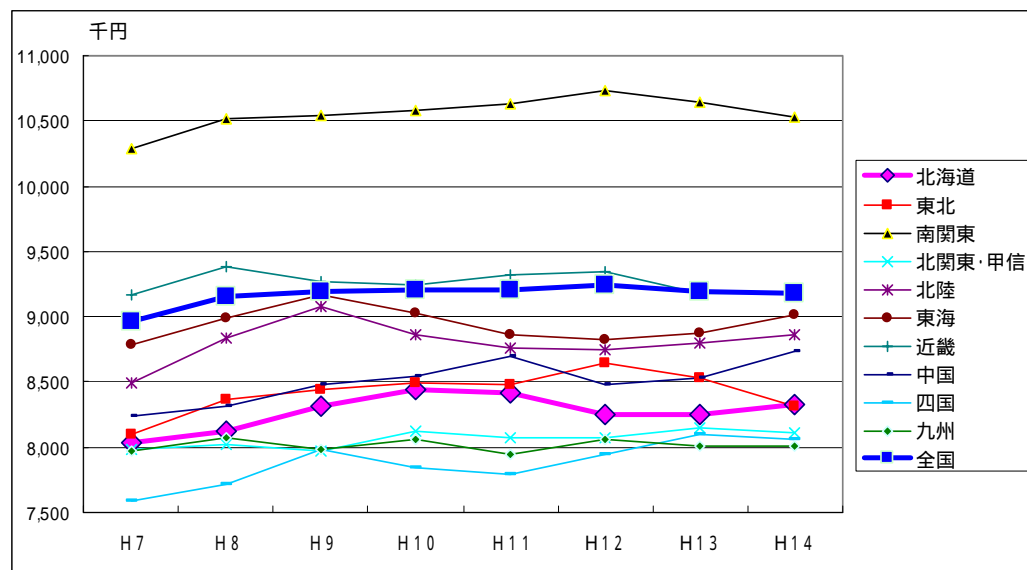


出典：内閣府「県民経済計算年報」（年度）、総務省「労働力調査年報」（暦年）

注：一人当たり名目総生産の算出方法は以下のとおり

一人当たり名目総生産 = 産業別県内総生産額（名目） / 産業別就業者数（労働力調査）

## 地域別一人当たり名目総生産の推移(三次産業)



地域区分は、以下のとおり。

(北海道)北海道

(東北)青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

(南関東)埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

(北関東・甲信)茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県

(北陸)新潟県、富山県、石川県、福井県

(東海)岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

(近畿)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(中国)鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

(四国)徳島県、香川県、愛媛県、高知県

(九州)福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県